
悪道

土下座侍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悪道

【Nコード】

N0261V

【作者名】

土下座侍

【あらすじ】

不快に感じる事が考えられますので苦手な方はお辞めください。

不平等

全てが大切に永遠に続くと信じていた

つるんだ仲間も、好きだった彼女も

散々馬鹿騒ぎをして、最強だと勘違いした

ただ楽しいだけの夏休みは永遠になんか

続く訳はなく、誰もが大人になって

物分かりの良い振りをする

下らねー人生だと気づいた時に俺は地面に唾を吐き、太陽に向かって叫んだ

「もおー面どくせえっ！！ぶっ飛ばすぞコノヤロー！！」

額に汗して働く俺は35 の真夏の日差しを浴びて、手に握ったハンマーを放り投げる

なんだか騒ぐ周りのオッサン達に片手を挙げると工事現場の出口に向かって歩き出した

警備員の兄ちゃんにがまなけな顔で俺を見る

通り過ぎる時、俺は兄ちゃんに肩パンを入れる
「兄ちゃん、こんなところで現場のオッサンに

笑顔振り撒くのが人生か……？」

警備員の兄ちゃんは一ハッ！と抜けた悲鳴漏らした

俺はそんな馬鹿野郎など気にせずさっさと門をくぐり現場を後にした

テキーラ

馴染みのバーで俺はテキーラのショットを空けるとライムをかじる

「世の中は不平等だと思うわけだなお前は？」

隣でテキーラを同じように空けたアキはそう言ってカウンターを二本の指で叩くとバーテンの方に向かってビールと呟く

「ヒサよお、今さらお前からそんなにセンチな言葉が出るとはな。今年の夏はいよいよ馬鹿もイカれるほどヤバいつて事か」

バーテンがビールを2つよこすと何き囁き奥に戻る。
はつきり言えよコノヤロー！と、少し苛つくが我慢してアキを見る。

タピオカの殻を斜め後ろのカップルに向けて投げつけていた

「盛ってんじゃねーぞコラ！！」

イカれた馬鹿はお前だと心で呟き紳士な俺はビールを飲む

「で、お前はどーなんだ？何かオレオレのバイト始めたって言うてたよな」

アキはタピオカの殻投げを三回ほど繰り返してビールを飲むと俺を見て、またビールを

飲み口を開いた

「ダメだあんなもん。下らねーから辞めた」

「だいたいよ、俺達を育て日本を引っ張ってきたおじいさんお婆あちゃんにな、タカるなんて酷い事ができるか！？」

俺はな、いつか世の中に何かしら返したいと思うわけ…だからあん

な事で儲けられっか!!」

「そおか…って、コラあ!!」

お前さつき俺が仕事辞めた話ししたら散々馬鹿にしゃがったじゃねーか!!」

「お前のおセンチな話と一緒にすんな。

俺は社会問題に真っ向からぶち当たったんだ」

「何が社会問題だコノヤロー!! お前も俺と同じだっつーの」

「アア!? 太陽が眩しいから仕事辞めた奴と同じだとコノヤローぶっ飛ばすぞ!!」

しばらく友情の殴りあいをした俺達は席に着くとカウンターを指で叩きバーテンに
2つつつと呟く

テキーラとビールがそれぞれの前に並び無言で空ける

「ま、とりあえず無職だな…」

アキが呟き俺も重ねる

「無職だ…」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0261v/>

悪道

2011年10月9日09時21分発行